
おやおや
偶然にもキミが私の下着に顔をうずめている写真が撮れてしまったわけだが…。
さて、
少し時間をもらえるかな？
どうだい？
これで射精できそうかい？
ほら、早く出すところを見せたまえ。
ワクワク
ガキッ
ガキッ
フッ
フッ
フッ
フッ
シコ
シコ
シコ
なぜかクラスの優等生のパンツを見ながら、オ○ニーすることになった話。

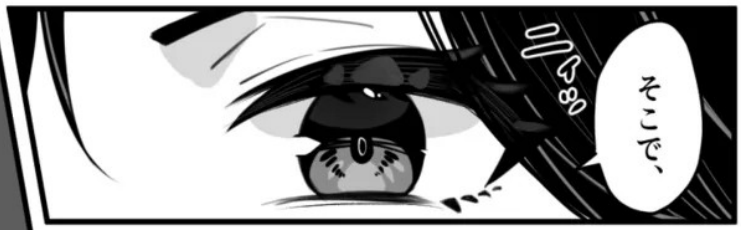

そこに
パンツが置いてあった。
不可抗力だった。
ゴクッ
スゥ
責められることではないと思う。
ビクッ
1/10
シャ
え…？
や。
面白いモノが撮れてしまったよ。
人生が終わる音が聞こえた。


さてと、
じゃあ、見せてくれたまえ。
キミのオナニーを。
なんだこの状況？
い、委員長、確認なんだが…。
ん？なんだい？
な、なんでこんなことを…？目的はなんだ。
やれやれ、そんなことか。鈴木くん。
…おれ、田中だけど。
あぁ、そうか。
田中くん。
それはね…、


もちろん
私が見たいからだ!!
この目で!!
おち○ちんを!!
オナニーを!!
は?


SNS
週刊
ただ、ウチは厳しくてね。
制限が多いんだ。
それならば、もう
実物を見るしかあるまい。


「男のお○んちんが見たい。」
「自慰行為が見たい。」
至極まっとうな
欲望だろう?
うん。…え?

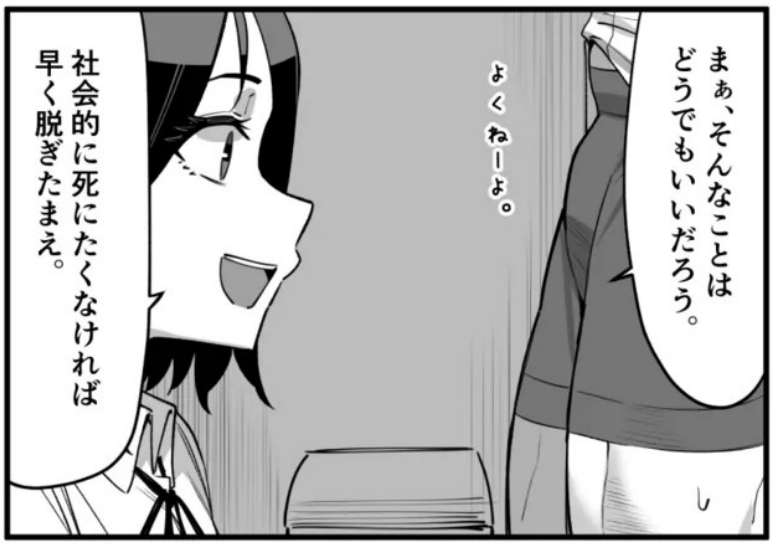

ニィッ
そこで、


キミは、
事前に用意した
私の下着に
キョロ
キョロ
サッ


クラス一のムッツリである
キミに目をつけた。
ムッツリ?

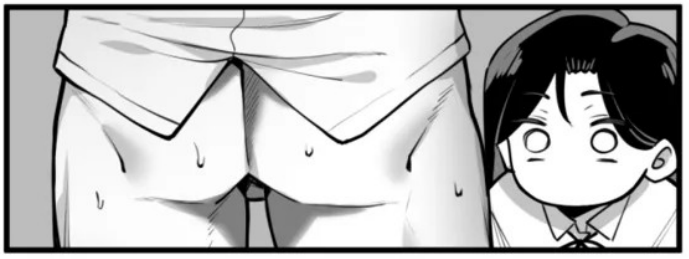

まんまと引っかかった
わけだ。
おお、
匂いを嗅ぐときたか。
スーハー
こいつ!!
ハメやがったな!!

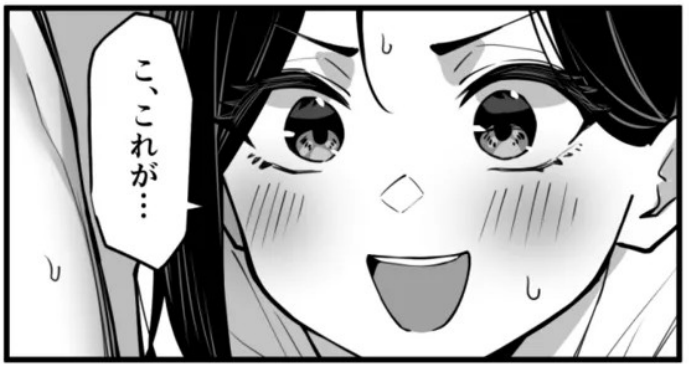

はやく
はやく
この変態…
はぁ
はぁ
眼がイってる。


まぁ、そんなことは
どうでもいいだろう。
よくねーよ。
社会的に死にたくなければ
早く脱ぎたまえ。


正直、私はキミの下着姿だけで
まぁまぁコーフンしている。
はぁ
はぁ
早くしないと何をしでかすか
分からないぞ？


やるしかない…!!




こ、これが…


ド
おち○ちん!!!
!!


こ、これは今
「勃っている」
状態なのか!?
い、いや、まぁ、
半勃ちくらい？
「半勃ち」？
50%ということか。
じゃあ、100%も
見せてくれ!!
遠慮することはない。
ちょ、ちょっ!!
そ、そう言われても!!
オレもこんな状況で
混乱してるっつーか
はて？
そもそも、こういうのには
「オカズ」が必要で…。
「オカズ」？
この可愛い
お顔だけじゃ不足かい？


ぐっ…!!正直、委員長の顔だけでも充分イケるが
きゅるん♡
「きゅるん」やめて？
じゃあ、
ここでそれを認めるのは悔しい。
むぅ、だめか。
というか、情けない!!あまりにも!!
これならどうかな？
!!
チラッ


勃ちそうかい？
い、委員長の
生パンツ…!!
ビキッ
ビキッ
ビキッ
おぉ、大きくなった!!


汚れそうなので脱いだスカート
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
キミのその手つき
「私」の評価は
それなりと思ってよいのかな？
鼻息の荒さから察するに


それなり？
それなりどころじゃない。
いつも凛とした優等生
皆からの信頼も厚い人気者。
そんな委員長がパンツ丸出しで股を開いている。
おやおや
もうパンツしか見ていないなキミ。
はぁ
はぁ
シコシコ
これ以上のモノなんて無いだろう。


い、委員長…!!
オレ、もう…!!
お!出そうなのか!?
じゃあ…
ぐいっ
「出血大サービス」
なんてね♡
!?
毛
毛
毛
毛
毛


委員長の…
ま○毛…!!
はぁっ
はぁっ
はぁっ
こういうのが好きなんだろう?
はぁっ
男の子は。
手の動きが早くなったね。
はぁっ
シコ
シコ
シコ
シコ
はぁっ


もも
おっ
おっ
びゅるるるるるるっ
おぉ!!
おっ
おっ
びゅっ
びゅっ
びゅっ

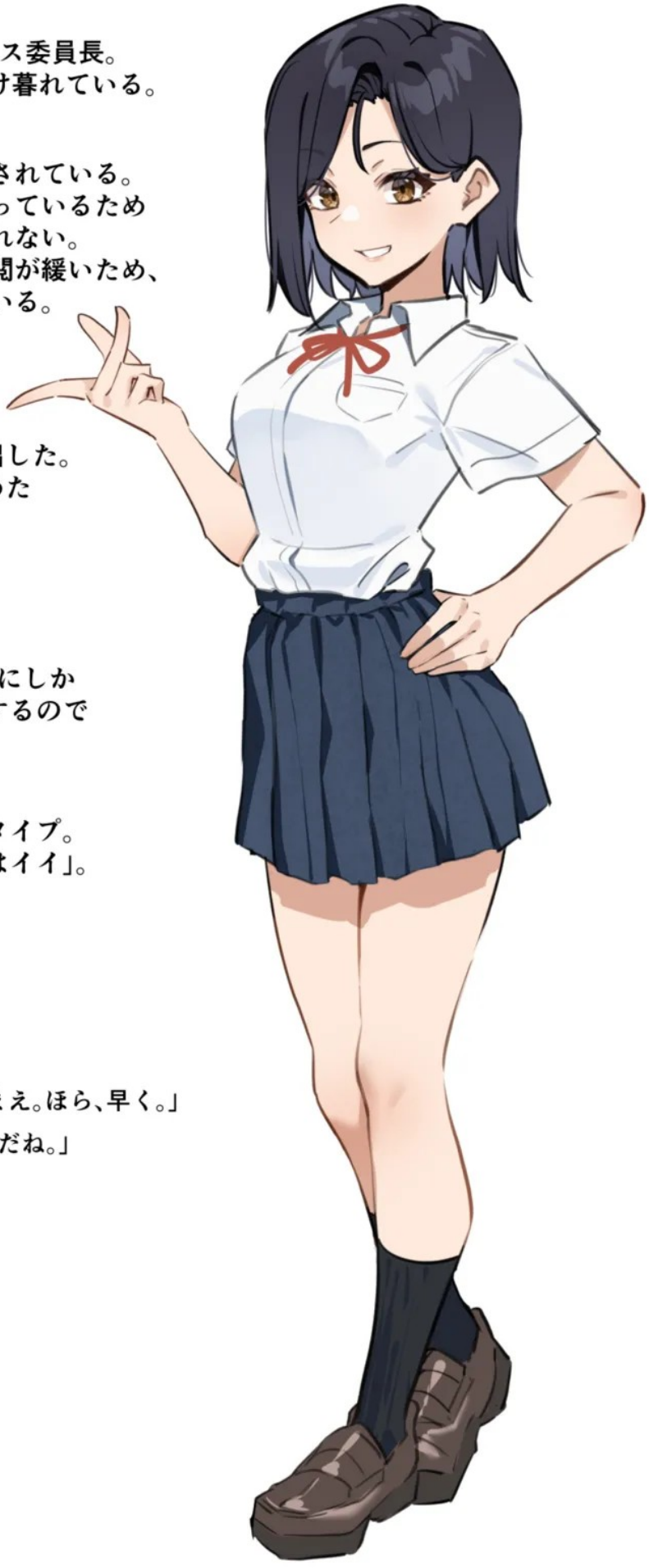

こんなに出るんだな。
これが普通の量？
びゃっ
びゃー
びゃー
びゃー
というか、キミ
どさくさに紛れて、
私のかわいいおなかに
おち○ちん擦りつけてるな？
ぷっ
にゃ
ビクッ
ビクッ
ブーン
ブーン
びゃー
それ、
気持ちいいのかい？
びゃー


ハァ
ロォはぁ
はぁ
はぁ
うっ!!
ぴゃっ
おっと。
…出し切ったかい？
ご、ごめん。委員長…。
なに、気にすることはないよ。


それよりも
トロ〜
このカラダに欲情し
じわっ
精子を掃き出すキミの姿…
かなりそそられるものがあったよ。
クセになりそうだ♥
ｶﾝｶﾝ♥
コ、コイツ…


異常者!!
またよろしく頼むよ。
ちなみに、キミに
拒否権は無いのであしからず。
くいっ
こんなやばい奴だったのか…。
それは餞別だ。
ポイ
汚れてしまったからね。
好きに使ってくれ。
じゃあ、また。
中山くん。
いや、だから、
田中だって…。
こうして、彼女と俺の
奇妙な関係が始まった。
-つづく-

北桜　茜（きたざくら　あかね）



・容姿端麗、成績優秀、皆からの信頼も厚いクラス委員長。
・実は性への探求心も人一倍で、日々妄想に明け暮れている。

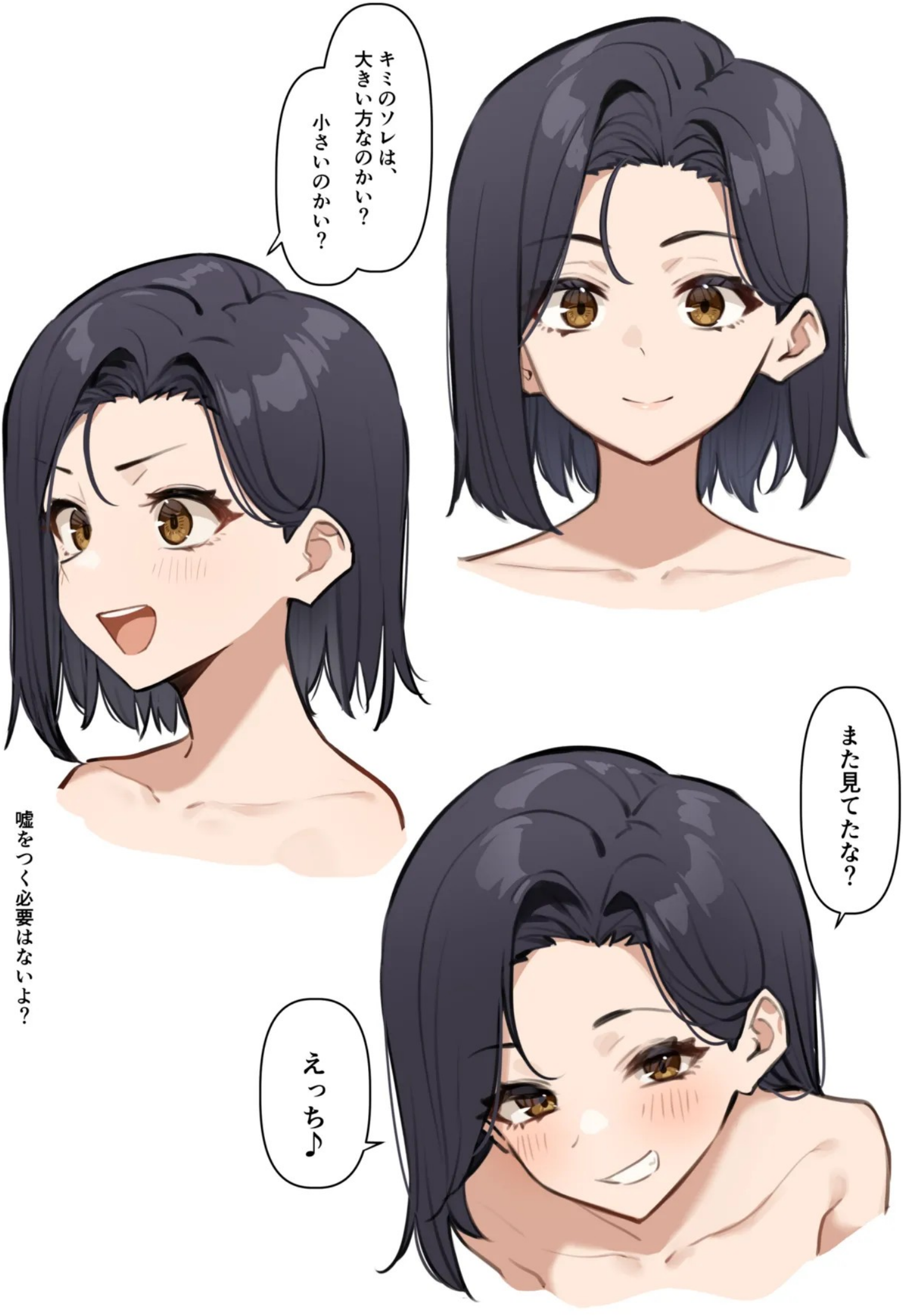
・厳格な家庭で育っており、多くの娯楽が制限されている。
・スマホは所持しているが、フィルターが掛かっているため
一番見たいもの（えっちコンテンツ）は一切見れない。
・漫画も禁止されているが、小説に関しては検閲が緩いため、
最近はもっぱら官能小説で欲望を発散させている。

・官能小説だけでは満足できなくなった頃、
観察に観察を重ね、田中という獲物を見つけ出した。
まんまと罠にはめた後は、これまで溜めに溜めた
性への好奇心を思い切りぶつけられそうだと
ワクワクしている。
・オナニーの回数も増えた。

・田中のことは、最初は都合の良い存在くらいにしか
思っていなかったが、からかうとイイ反応をするので
それがなかなか気に入っていたりする。

・自信の容姿が優れていることに自覚があるタイプ。
・胸はそこまで大きくはないが、本人曰く「形はイイ」。

「キミは、週に何回オナニーするんだい？答えたまえ。ほら、早く。」
「フフッ。キミ、結構可愛いらしいところがあるんだね。」


キミのソレは、
大きい方なのかい？
小さいのかい？
また見てたな？
えっち♪
嘘をつく必要はないよ？

田中　凪人（たなか　なぎと）



•ムッツリスケベ。
•北桜にそのスケベ心を見透かされ弱みを握られてしまった可哀そうな人間（自業自得でもある。）

•品行方正な真面目な人間だと思っていた北桜の奇行に心底ビビりながらも、内心かなりおいしいとも思っているので、win-winな関係なのである。

•北桜からもらった下着は、洗わずに大切に使っている。

「だから、田中だって…。わざとだろ。」
「ど、どどど、童貞じゃねーし!!!」



くそっ…!!
かわいい。



（あ、おっぱい見えそう。）


遠慮せず見たまえ。

どうかな？
田中くん♥

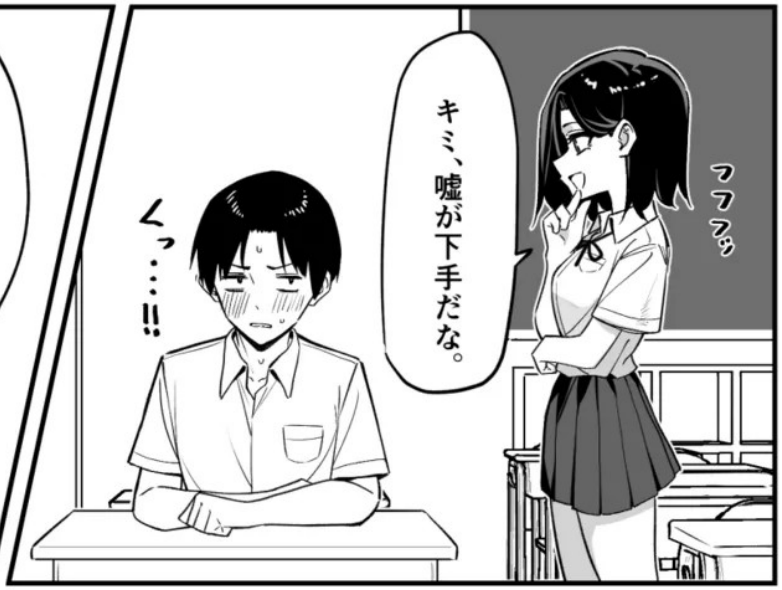
出せそう？



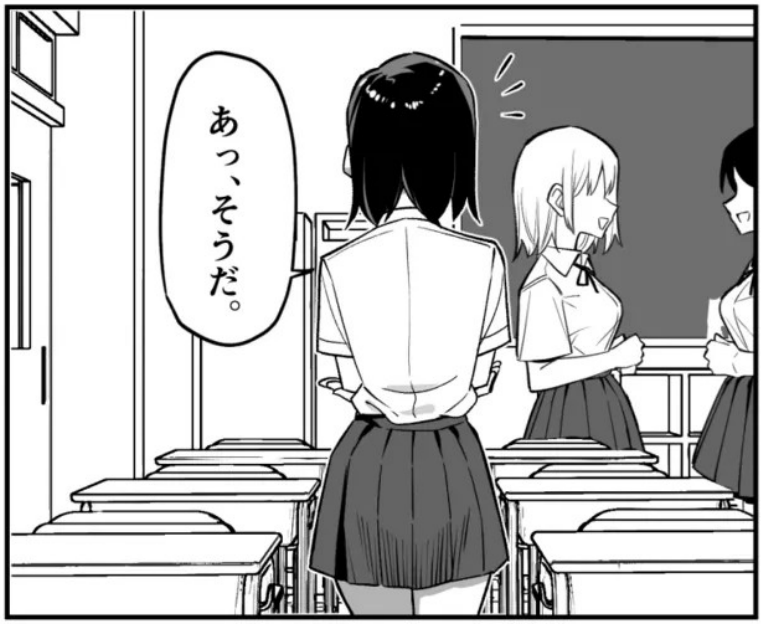

翌日
い、委員長。
やっ！
田島くん。
田中だよ。
はぁ…。
ガラ
おはよう。
ビクッ!!
私のアレは、使ってくれたかい？
ドキ
ドキ
あ、アレ…？
はっ


!?
使ってくれたようだね。
たくさん出せたかい？


は、はぁ!?
な、ななんだぁ!?使うって!?
ちょっとよく分かりませんケド!!
そうかそうか。


フフッ
キミ、嘘が下手だな。
くっ…!!


じゃあ、また放課後。
え？今日も？


あっ、そうだ。


ちなみに、
スッ


私は昨日、
キミのを
思い出しながらシたよ？
ボソッ
な、
カアア
なな…っ!!?
ムクムクッ
フフッ。
放課後が楽しみだね。
-つづく-


なに？
「おっぱいも見せろ」って？
やれやれ。
ぽさっ
どうしようもない変態だなキミは。
なぜかクラスの優等生のおっぱいを見ながらオ○ニーすることになった話。
ムニュン
ちらっ
これで満足かい？


ほら、
キミの大好きな
おパンツだよ？
キミ、
やたらと毛を見たがるね。
はぁ
はぁ
ぐぃ
あれからというもの、
委員長に呼び出されては
オナニーを見せるという
奇妙な生活が続いている。


委員長
なんだい？
太田くん。
俺、今日もお前の
パンツ見ながら
シコんの？
それで、
何か不満でも？
い、いや
さ、流石にもう
パンツだけでシコるのは
無理があるというか…。
嘘だ。
パンツだけで十分
イケる。
おや？
いつもの「田中だよ!!」の
ツッコミはないのかな？
お前、
やっぱりわざとじゃん。
毎回
スカートだけ脱ぐ


ほら。毎回同じネタじゃ勃つものも勃たなくなるというか。
最初はどうなることかと思ったけど、
他の刺激があったほうが、俺もパフォーマンスが上がるし、
プラ
プラ
その方が委員長も満足できる
考えようによっては、この状況かなりおいしい。
このヘンタイを上手く乗せればもう一歩先へ行けるんじゃ…!?
なるほど。
随分、贅沢なことを言うね？
えっ!!
こんな美少女に向かって「お前の下着じゃオナニーできねーよ。」なんて。
い、いや!!決して、そういうことじゃなくて!!
立場を
忘れていないかい？


やばい!!
調子に乗ったか?
ち、違うんだ!!
ただ、
一理ある。
!!
「非日常は非日常であるがゆえに、
エロスたり得る。」ということか。
確かにそれはあるかもしれない。
人間は慣れる
生き物だからね。
キュッ
…え?
よく分からんけど、
納得してくれた。
私も丁度、違う反応が
見たいと思っていたところだし、
新しい試みも面白いかもしれない。
それで、
具体的にどうしろと?
そ、それは…。
じぃ…
やっぱり胸か?
そんなに好きかい?
この脂肪の塊が。


当たり前だ…。
ぐっ
おっぱいが嫌いな男なんて
存在しない!!!
カッ
そ、そうか。
声がデカいな。
仕方がない。
ペットにごほうびを
あげるのも主人の役目か。
シュル
シュル
ペットって言った?今
ゴクン
私のおっぱいを見られるなんて
つくづく幸せ者だなキミは。
本当に見れるのか。
ふにっ
…恐縮です。
当たり前だが、見るだけだぞ?
委員長のおっぱい。
ぷにっ
は、はい。
ぷにっ


ほら。
!!
がばっ
おっ!!
おっ
よく目に焼きつけておくんだね。
むにっ
おおっ!!
これが最後かもしれないよ?
おっぱい!!!


なに？
「ブラも脱げ」って？


…しょうがないな。
なんで、
ボタン閉めて…？


!!
ぱちっ
くいっ
は、はずしてる…？


今、俺の目の前で
ゴソ
ゴソ
委員長が
シュル
シュル
ブラジャーを…。
に…？


脱いだよ？
ほらほら。
この揺れを見たまえ。
美少女のノーブラおっぱいだぞ？
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ


感想は？
…めっちゃエロい。
そうだろうとも。
…乳首。
ん？
乳首を見せなければ、
おっぱいを見せたことには
ならない。
俺は、
委員長の乳首が見れれば、
最高に気持ちいい
オナニーができる自信がある!!
で、
おっぱいは？
？
今見せてるだろ？
生だよ生!!
布越しのおっぱいで
抜けるか!!
誰がそこまでやると？
というか、
さっき充分見せただろ。
なっ…!!
ほら、
早くシゴきたまえよ。


ふふっ
なんだそれは。
ふふふっ
キミ、
自分がどれだけ気持ち悪いことを言っているか
自覚はあるのかな？
そんなことを言われて、私が見せるとでも？
そんなに簡単な女だと思われているのかな？私は。
やれやれ、本当に
どうしようもない変態だな。
くっ…、だめか。


キミも
私も
ぷるっ
!!
くいっ
おっ
おっ
おっ


ふふふ、おちん○ん
シゴく手が止まらないね？
乳首一つでここまで
興奮できるなん…。
…ちょっと、
近過ぎないかな。
おい、
鼻息が…。
ブー
フー
…っ!!
ピクッ
ちらっ
はっ
はっ
はっ
はっ


ぐっ
ズルッ
ん!?
お、おい!!
勝手に…
おっ
お…


毛
お、おい。
おっぱい
ま○毛!!
そ、そんなに擦って
大丈夫なのかい？
おっぱい!!
出る!!
出る!!
出る!!


おっ
どぷっ
おあっ
びゅっ
びゅるるるるっ
びゃっ
びゃっ
ドキ
おーっ
びゃっ
びゃっ
びゃーっ

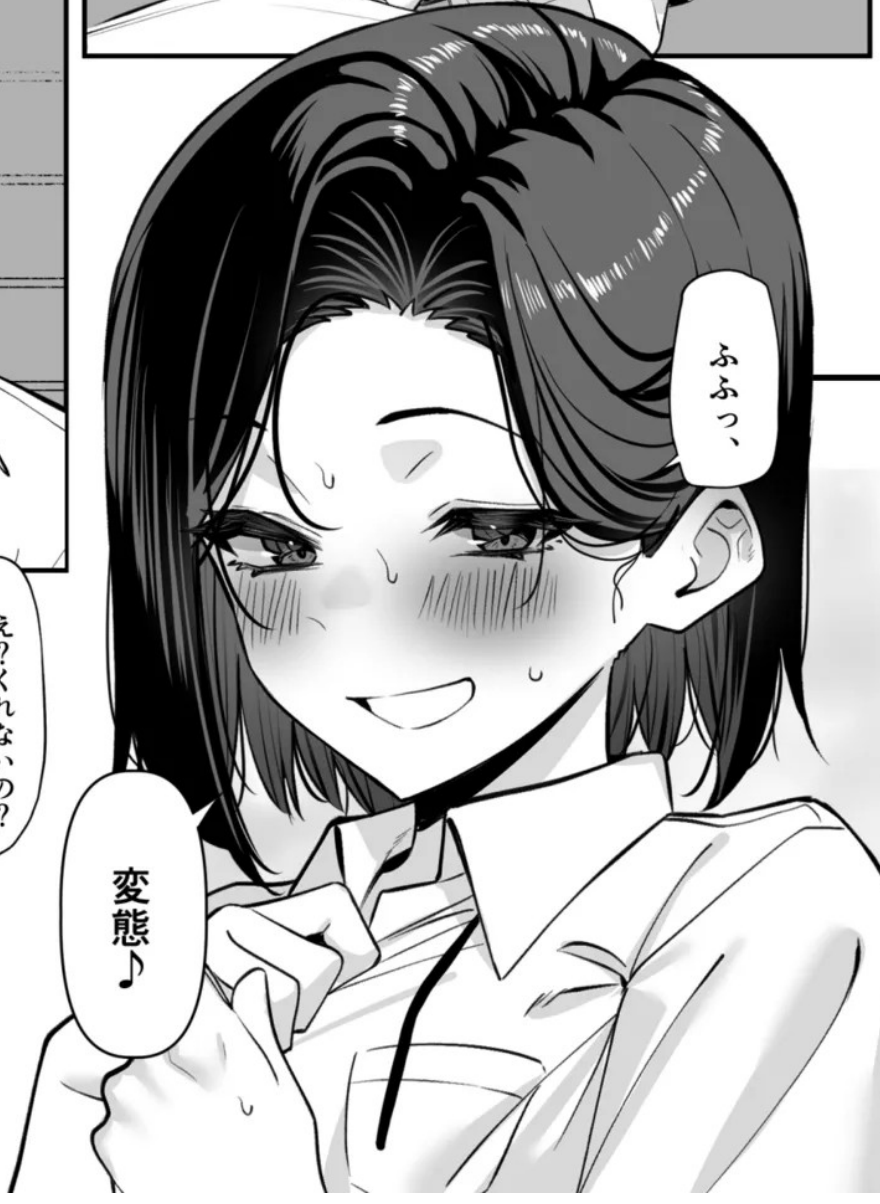

ぐでー
…終わったかな？


やれやれ。こんなに出せるものなんだな。男の子って。
感心するよ。
ビロォン

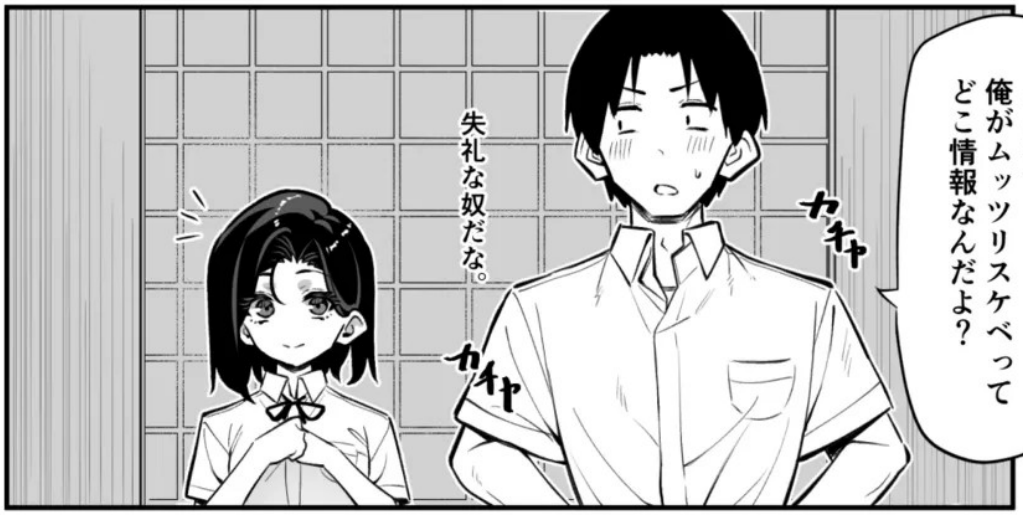

委員長。


最高。
ぐっ

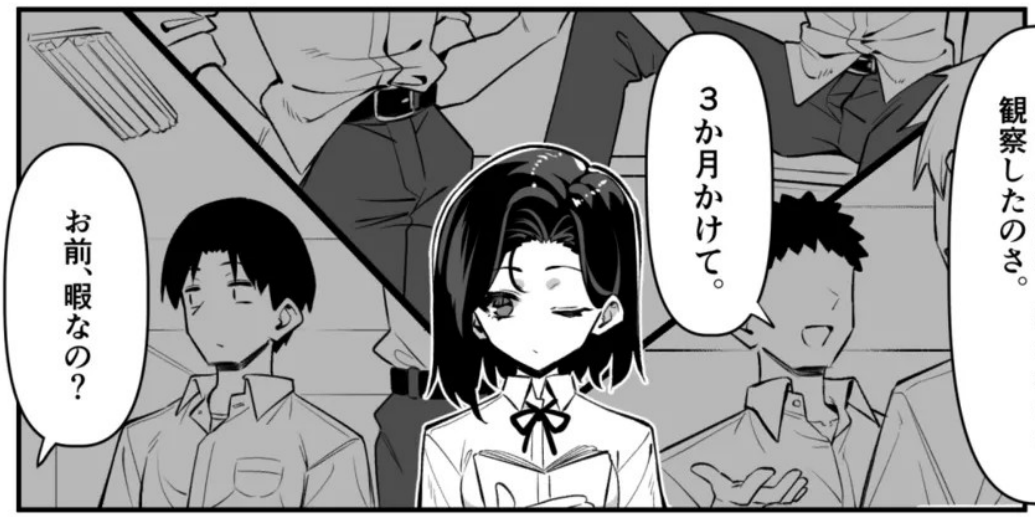

え？くれないの？これ。
なんでもらおうとするな。
早く返したまえ。


ふふっ、
変態♪

-つづく-


ところで、
俺がムッツリスケベって
どこ情報なんだよ？
カチャ
カチャ
失礼な奴だな。


私のリサーチの結果だよ。
フフン
スチャ
り、リサーチ？

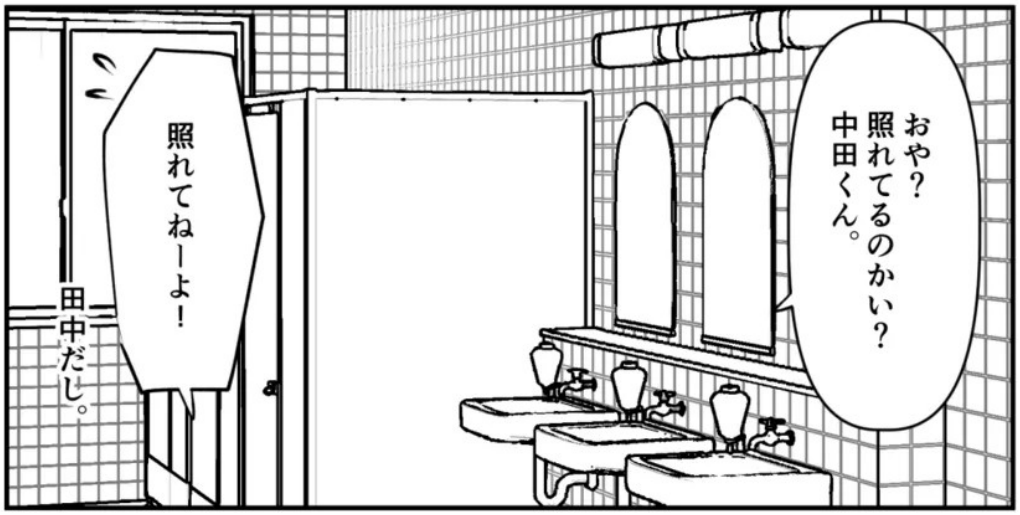

クラス全員の日頃の行いを
観察したのさ。
3か月かけて。
お前、暇なの？


その結果、
キミは、女子の胸やお尻を
チラ見する回数が
ダントツで多かった。
ちらっ
じー
えっ？
いい


山岸先生の時なんてすごいぞ？
自覚は無いのかな？
い、いや…、そんな馬鹿な…。


まぁ、そんなに卑下することはないよ。
また見てる…。
ムッツリスケベだって、大事な個性さ。
でっか…。
う、うるせーな。


私は、キライじゃないよ？
…うるせー。


おや？照れてるのかい？中田くん。
照れてねーよ！
田中だし。


そ、そもそも！
俺がお構いなしに
襲って来たら、
どうするつもりだったんだよ。
ぐへへ～
キャー!!
ふむ？
そんな度胸無いだろ？
キミ。
あったらどうしたんだって
話をしてんの!!
なるほど。
そうだな。
キミが萎えるほどの
変顔と奇声で
可愛いく抵抗
してたかもね。
うヴヴヴヴヴヴ
ええ？何この人？
絶妙に嫌なことするな。
まぁ、でも、
そんな心配はしていなかったよ。
？
なんで？

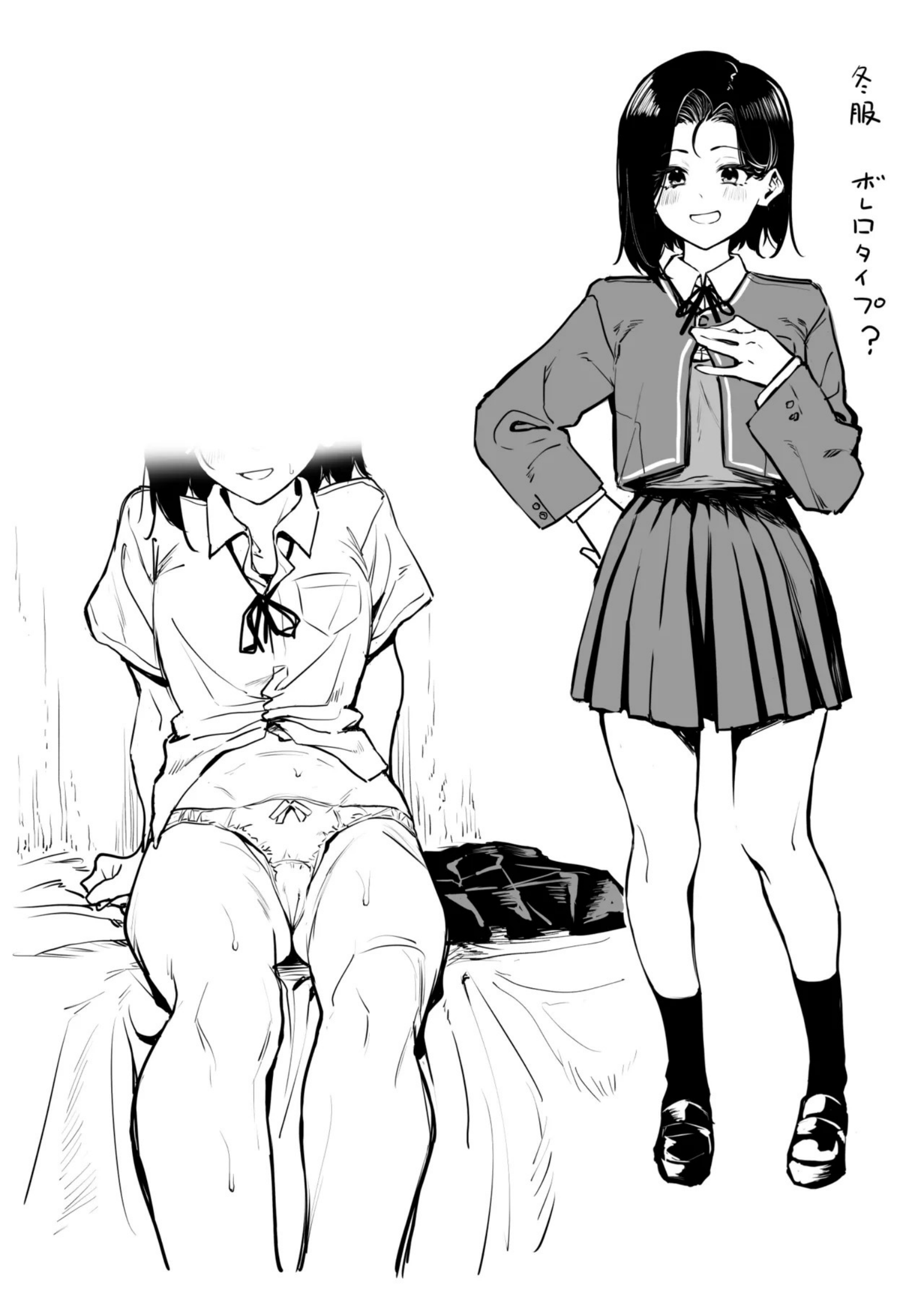

私はなにも
キミのスケベさだけに
目を付けたわけではないということさ。
人を見る目には自信があるんだ。
フッサ
なんだそりゃ。
ところで、いつまで履いてるんだ？
早く脱ぎたまえよ。
なんで俺がおかしいみたいな言い方されてんの？

-つづく-


勉強集中したいから、部屋には入らないでね。
分かってるわよ。頑張ってね。
夕ご飯もあとで食べるよ。
あらそう？
自宅では普通のしゃべり方。
フフ、そんなに大きくして…。
ボンボン
私のカラダで…変態め。
ボンボン
レちゅ
レちゅ
レちゅ
レちゅ
自宅で思い出し妄想オナニーが捗る茜ちゃん。


あっ、だめだよそこは…
（小声）
ボソボソ
そんなにしたら…
ボソ
たなk…
ん…っ
ぐんっ
ぐんっ
ぐんっ
ぐんっ
ぐんっ


はっ…。
あっ…。
ふぅ…。
そろそろ解像度が下がってきたな。
また呼び出すとするか。
―つづく―

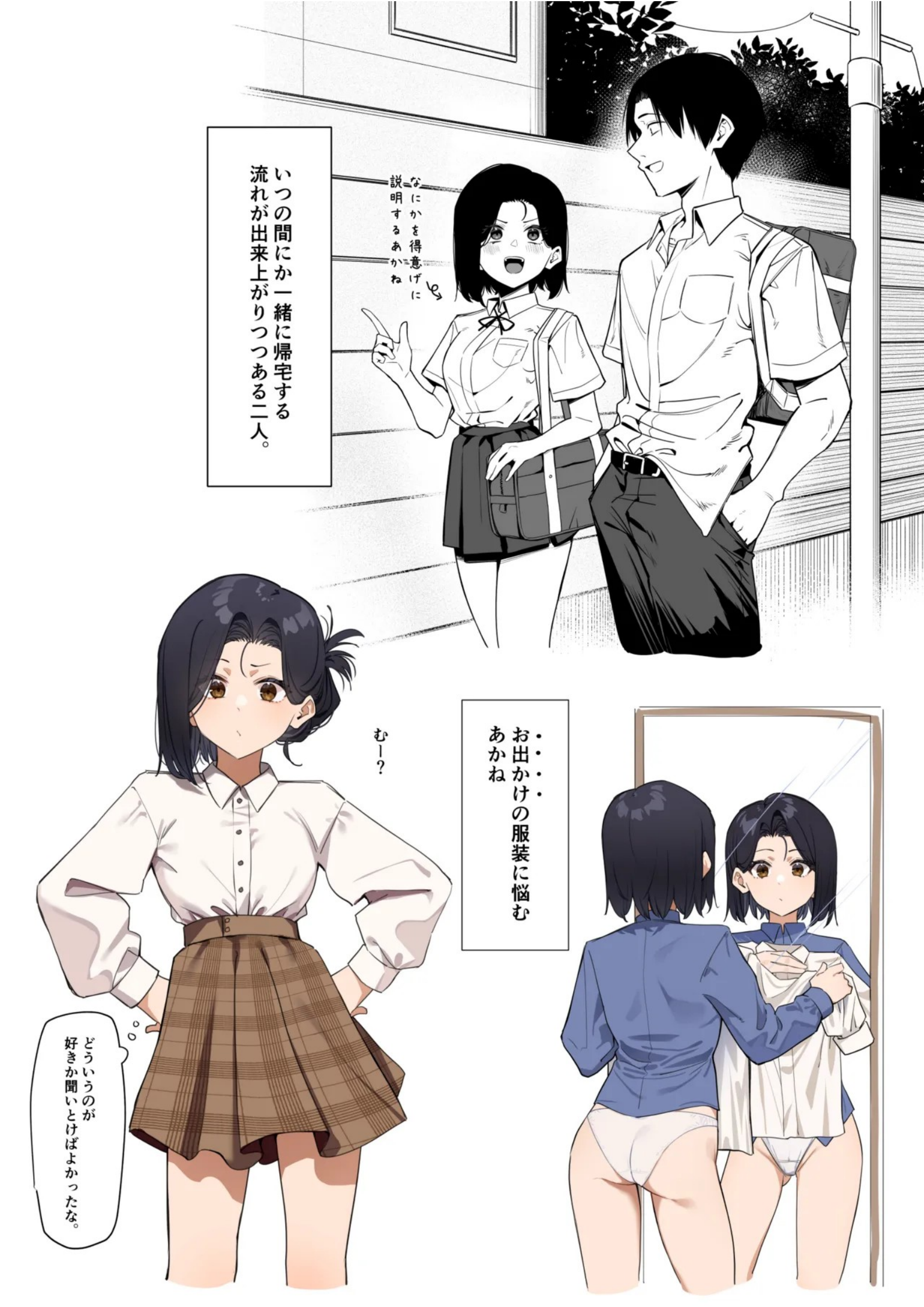

冬服　ボレロタイプ？


どうせ童貞だろ？キミ。
別に誤魔化す必要はないよ。
私だって処女だしね。


勉強を見てあげているあかね
や、やかましい。
おや？照れているのかな？


イイ表情をするね。
キミは。
私にお○んちんが付いていたら、
バキバキに勃起しているところだよ？


キミが女で私が男だったら、
私はキミを押し倒していたかもしれないね。
感謝したまえよ？
私が女であることに。
なに言ってんの？


いつの間にか一緒に帰宅する
流れが出来上がりつつある二人。
なにかを得意げに説明するあかね
・・・・
お出かけの服装に悩む
あかね
むー？
どういうのが
好きか聞いとけばよかったな。


相変わらず
呆れた性欲だね。
キミは。
むわ〜
脇は
えっちなものでは
ないんだよ？
クラスの優等生の脇で
オ○ニーする話

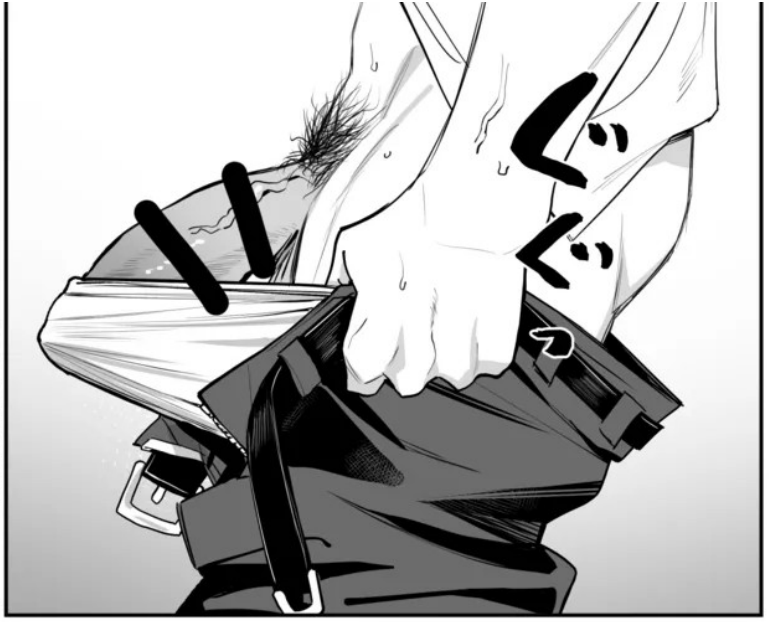

暑い。
んぁ？
まぁ、密室だからな。
季節も季節だし。

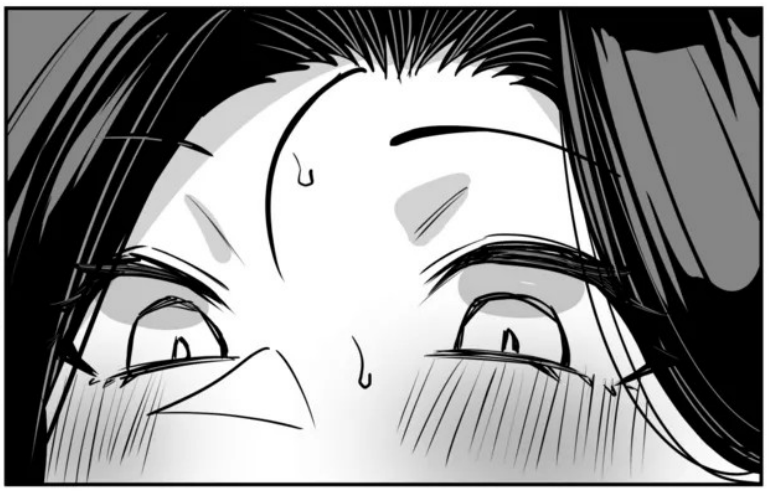

じ〜
早めに終わらせて帰ろうか。
ん？どうかしたかい？
え!?
「今日も可愛すぎる!!」って？
いや、そういうんじゃない。
そういうんじゃないってなんだ!!
むー!!
あー、そのー…。
？


やれやれ。
呆れた性欲だよ。
ホントに。
脇を見ながら
はぁ
はっ
シたいなんてね。


キミは知らないかもしれないから、
ぐぐっ
教えてあげるけれど、
ぐにぃ
脇は性器ではないよ？

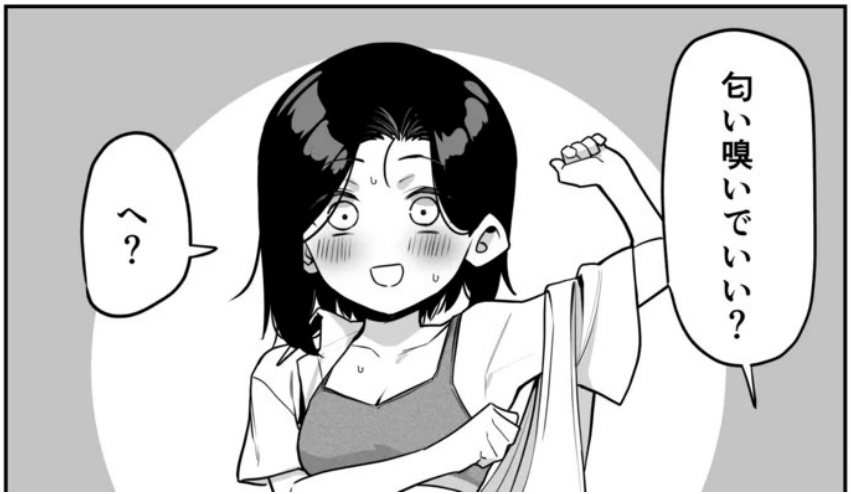

ぶるん


ぐぐっ




脇でそんなに
バキバキになるなんてね。

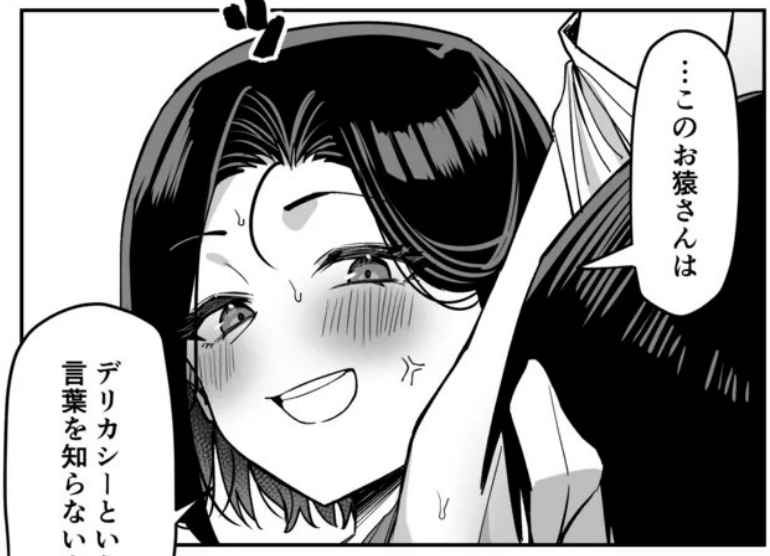

委員長
ん？


匂い嗅いでいい？
へ？


匂い？
うん。
脇の？
そう。
い、いや
それはやめたほうが
いいんじゃないかな。
ちょっ!!
ぐいっ
スゥ
ドッ
スゥ
ドッ
ドッ


ま、まぁ、
私のような美少女は
常にフローラルな香りを
纏っているものだからね。
キミの望んでいるモノとは
少し違うだろうけれど…
スゥー
スン
スン
プラ
プラ


臭い。ふつうに。
クンクン
キッ


…このお猿さんは
デリカシーという
言葉を知らないようだね。


散々授業で体を動かしたあとなのだから、
多少匂うのは当然であって、(早口)
私が特別くさいとかではないのだから、
勘違いするんじゃあないよ?そもそも
プラ
プラ
プラ


臭くて


興奮する。
…。


スーー
ハーー
フゥ
ハムーー
スー
フッ
ムセル
シコ
シコ
ムセル
フッ
これ、
スゲぇ…


汗のにおいと
女子の匂いが混ざって


めちゃくちゃ
スゥー
エロい匂いがする。


顔が近い…。

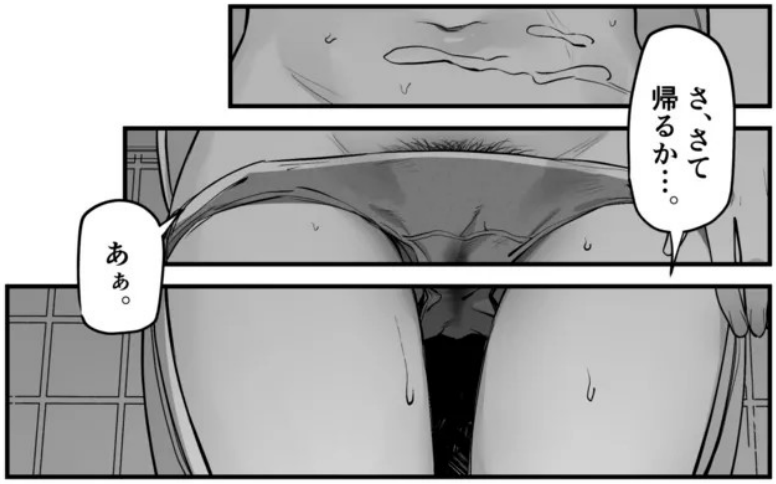

おい。
当たり前のように
他人の下着を脱がす
ようになったね。キミ。
ぐいっ
ズルッ
はっ
はっ
はっ
はっ
あー、やばい。
出そう。
スー
ハー
ムちゃ
ムちゃ
ムちゃ
ムちゃ
ムちゃ
スー
ハー
ハー
ちらっ


!!
ドッ
ドッ
近っ…!!
ドッ
ドッ
ドッ
あっ…!!
ぐやっ
出っ…!!


おっ
びくっ
びんっ
びゅるっ
びゅるるるっ
ブー
ブー
ブー
ぴゃー


ぐにゃ
ぐにゃ
トロォ～
キミは一体、
他人の脇を
何だと思ってるんだい？
はぁ
はぁ


ムちゅ
!!

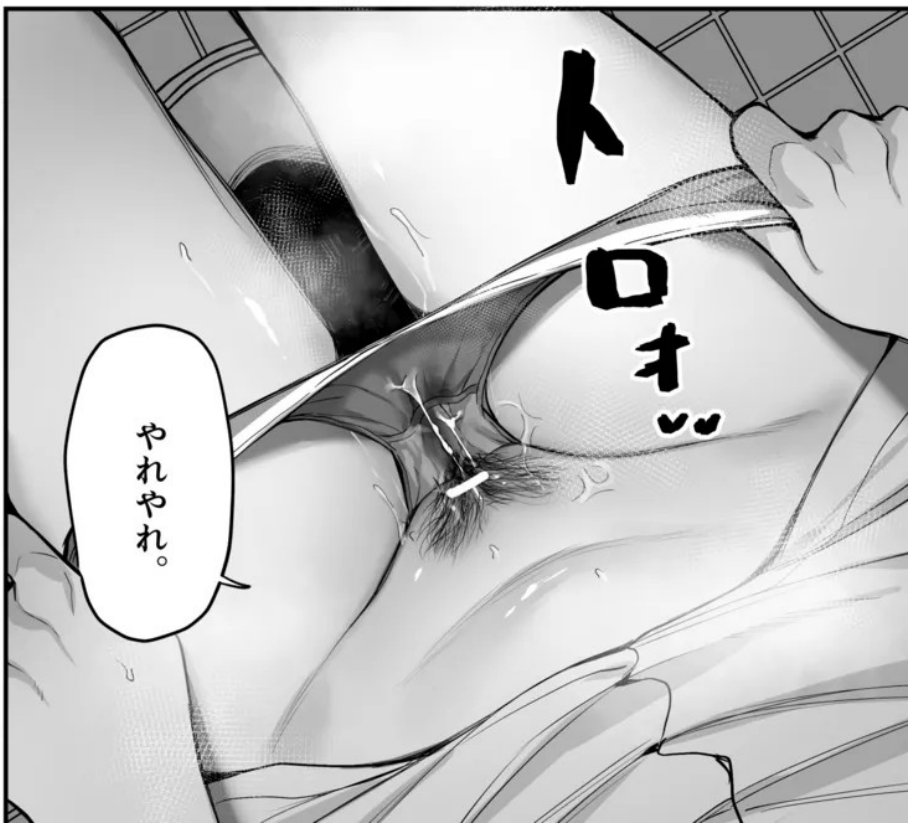

さ、さて帰るか…。
あぁ。


…。
今日は先に帰ってくれて構わないよ。
お、おう。そっか。


なんかごめん。流石にキモ過ぎたな。オレ。
ふふ、今さらだね。


バタン


ムいっ


ハ
ロオ
やれやれ。


困ったもんだ。
ムちゅ

-つづく-

実は･･･な相関図

過去





委員長ちゃんごめーん。
掃除当番替わってー？さんきゅー！

元クラスメイト



あ、櫻井さん。
また…？しょうがないなぁ…。

現在

「エッチなお店に行ったら、
昔の同級生がいた話」



山田



櫻井　月菜



山岸　佳代

授業がわかりやすくていいね。

あらあら？なんだか最近仲がよさそう…？うふふ。

教え子

おっぱいでけー…





ちょっと見過ぎじゃあないかな？

北桜　茜

「優等生にオ〇ニーを見せる話」

田中　凪人

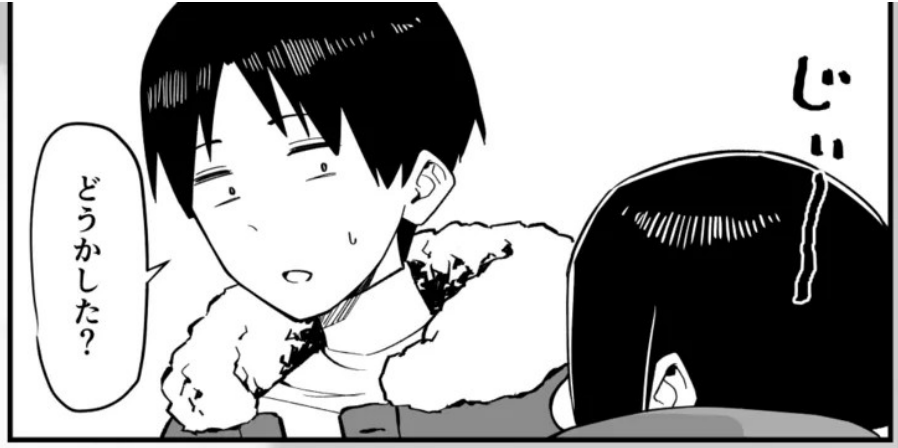
- 実は元クラスメイトの櫻井さんと佳代ちゃん。(あと山田)
- 特に仲が良かったわけではない。グループが違う感じ。
- 山田は空気
- 現在は、まったく交流無し。

- 茜と凪人含め、ほとんどの生徒は佳代ちゃんが実はヤリまくっていることは知らない。
- なお、佳代ちゃんが自分から生徒に手を出すことは(ほぼ)無い。

ちなみに、今後それぞれの話で佳代ちゃんがっつり出てくることは無い予定。
あくまで裏妄想設定。


半脱ぎ委員長
どこを見ているのかな？


お正月
見覚えのある顔だと思ったら。
委員長!?
奇遇だね。
明けましておめでとうございます。
ペコリ
あ、あけましておめでとうございます。
1人で初詣かい?
いや、親はおみくじ買いに行ったとこ。
さみー。
おや?
おやおやおや!?







新年早々、幸運にも私に出会えたというのに、

リアクションが薄いと言っている。

大吉を引いたようなものだよ？

そ、そう言われてもな…。


振袖でも着てくれればよかっ…
ん？
あ、戻ってきた。
ウチの子が女の子としゃべってる…。
あー、こっちは同じクラスの…
はじめまして。
凪人くんの友達の北桜　茜と申します。
明けましておめてとうございます
これはこれは、ご丁寧に…
あ、あけましておめでとうございます。
凪人くんとはとっても仲良くさせていただいています。
ニコッ
!!


ちょっと、あんた!!
こんな可愛いカノ…お友達いたの!?
やるじゃん!!
はぁ?
お母さんたちあっち行ってるから!!
じゃあね、北桜さん!よろしくねうちの子!!
行くよ!お父さん。
なんなん?
優しそうなご両親じゃないか。
そうか?
自分の息子がクラスメイトにオ○ニーを見せつける変態だと知ったら、どういう表情をしてくれるのかな。
すみません。勘弁してください。
ふふふ、冗談だよ。
怖いよー。
それはさておき、
さすぅ
グー


なんだか
お腹が空いてきたな。
ジャンボ
たこ焼
味自慢
…。


奢らせて
いただきます。
ん。
そうかそうか。


あ、忘れてた。


今年もよろしく。
色々とね。
よ、よろしく
お願いします…？
ふふっ。

-つづく-


自己PRを欠かさない
優等生
ご近所付き合いも
上手い。
？
・・・・・
私はああいうのは
そつなくこなせるタイプだよ？
どうだい？


キーンコーン
さて、
行こうか。
田端くん。
あー…、
今日は無理だ。
？
キミに拒否権は無いと
何度言ったら…。
ズズズッ
そう言われても、
無理なもんは無理だ。
む、強情だな今日は。
何か予定でも
あるのかな？
補習だよ。


この間の中間の。
中間テスト　上位成績者
1位　北桜　茜　891
2位　八乙女　卓也　841
3位　西園寺　京子　839点
4位　冴島　雄二　822点
5位　角舘　麗奈　816点
補習？
なんの？
やれやれ。
キミ、
勘違いしていないかい？
勘違い？
なにが？
スッ
補習というのは、
赤点を取った人だけが
受けるんだよ？
バーン
いや、だから、
赤点だったんだけど…。
…。


キミって、そんなにバカだったのか？
平均点の半分も取れてないってコト？
やかましい!!
俺はこれから補習なの!!
今日は無理!!
バカだから!!
むー
むむ、拗ねられてしまった。
そうだ。
ピコン
ということで、
図書室
キミの補習は私が見ることになった。
なんでだよ!!
先生に提案したら、「是非に」と言われたよ。
あらあら♪
いい加減だなぁおい!!



さて、じゃあ

補習を始めようか。

な、なるほど。

そういえば、

頭いいんだっけな
コイツ。

普段がアレだから
忘れてたけど…。

よし、
これで再試は大丈夫だろう。

つかれたー。

いやー、助かったわ。
委員長。

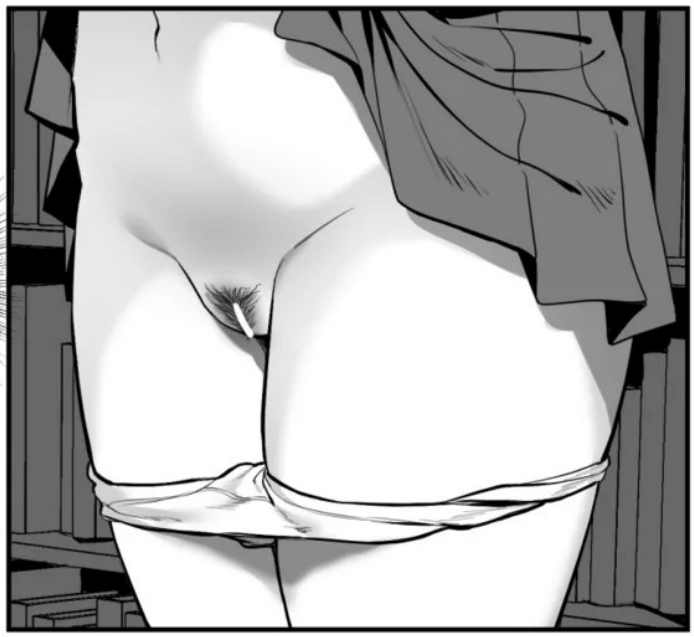

ただの変態じゃなかったん…
キョロ
キョロ
どうした？
前から思っていたけれども、
図書室というのは
その広さのわりに低い人口密度
ほどよい照度と
遮蔽の多さ…
…
なかなか都合がいい環境だと思わないかい？
は!?


な、何考えてんだ!?
キミこそ
・・ナニを考えてるのかな?
さっきから、隣で私の香りを
随分堪能していたようだけど、
バレてた。
それだけで、そんなになってしまったのかい?
い、いや、これは…。
ふふっ
補習に付き合ってあげたんだ。
次は、キミの番だろ?


お前
やっぱり
おかしいよ。
ふふっ。
こんなところで
おち○ちん出してる人に
言われてもね。
ムちゃ
ムちゃ
ムちゃ
しっかり
シゴけてるじゃないか。
ムちゃ
フッ
フッ
ムちゃ


スッ
こんな環境でも
ちゃんとキミは
性的満足感を得ようとしている。
私のカラダに欲情し
その事実に
すごく興奮する。

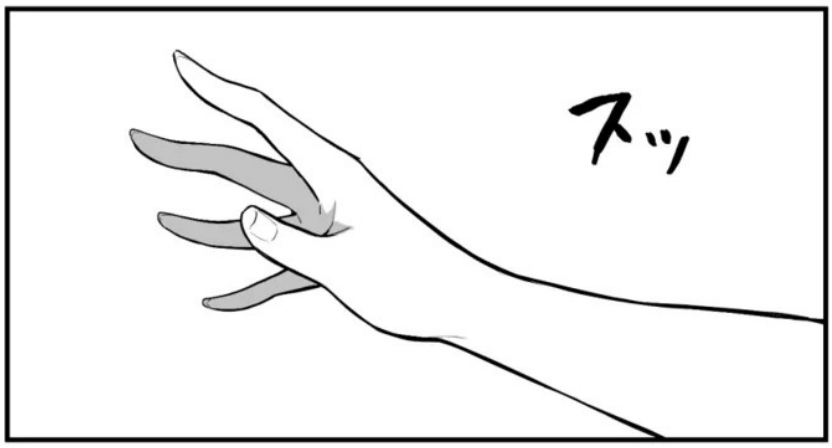

ドッ
け
毛！
ドッ
ドッ
ま○毛!!
ドッ




ふふっ


シコ
レロ
シコ
レロ
シコ
レロ
シコ
レロ


キミ
本当に毛が好きだね。

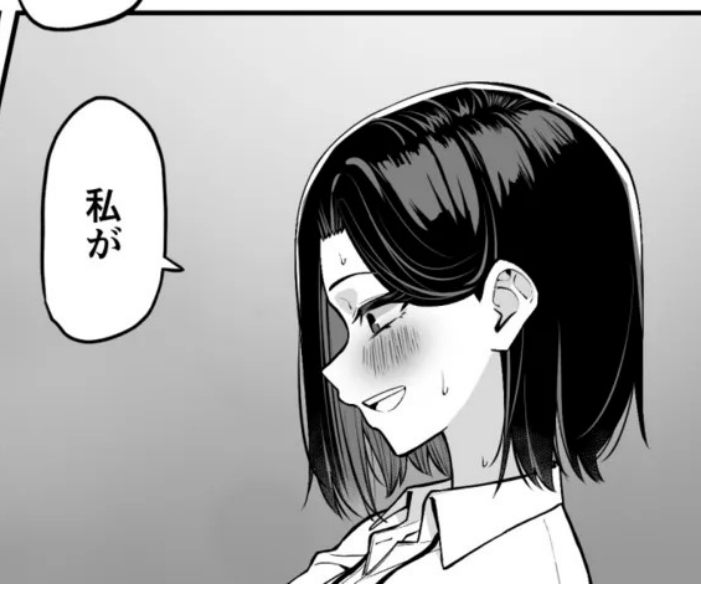

スッ




!!
ぴと


な、なんだぁ!?
触れているよ?


キミに。


私が


キミの音が
ドクン
ドクン
私の中に
流れてくる。
はっ
はっ
ドッ
ドッ
ドッ
おち○ちん
フッ
フッ
ぐにゃ
レちゃ
レちゃ
レちゃ
レちゃ
あたってるよ？


やれやれ。
ぐいっ
え？
早く出したまえよ。
むにゅ
!!


おっぱい!?
おっ…!!
柔っ…!!
委員長の
揉み…
？
ふにっ
ふにゅ
おっぱいを…
こ、これ、下…
むにゅん
うん。
さっき脱いできた。
ドッドッドッ
ひゅっ
ドッ


俺は今、
同級生の
布越し生おっぱいを
揉んでいる。
フゥー
もにゅ
はっ
はっ
フゥー
もにゅ
はぁ
はっ
むにゅう
フッ
ぷっ
はぁ
はっ
ぐにゅ
フッ
フッ
うぅ
はっ
にぃ
はっ

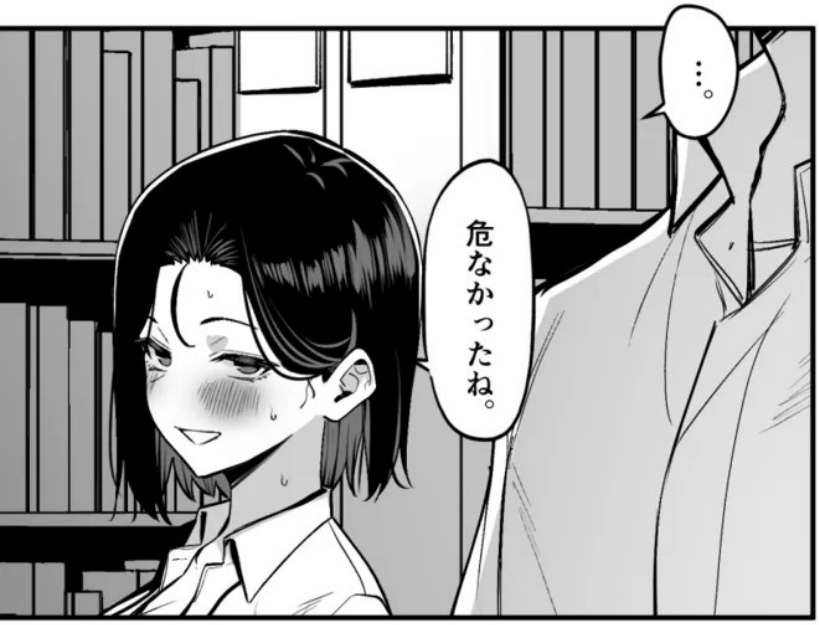

えっちぃ
ぷにるんっ
あっ…
ぶるんっ


はっ♡
おっっっ♡
びくっ
どくっ♡♡
びゅるるる


ヒョコ
ガタッ

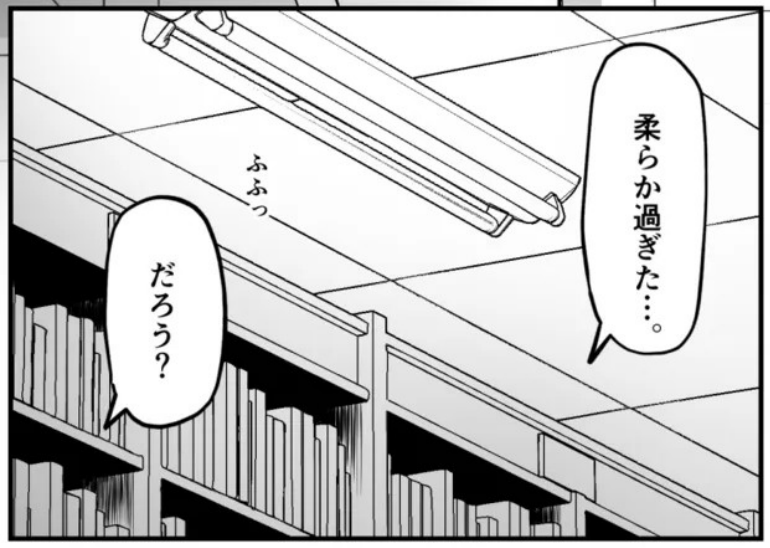

これなんかどうかな？
田中くん。
お、おう。
いいんじゃないか？

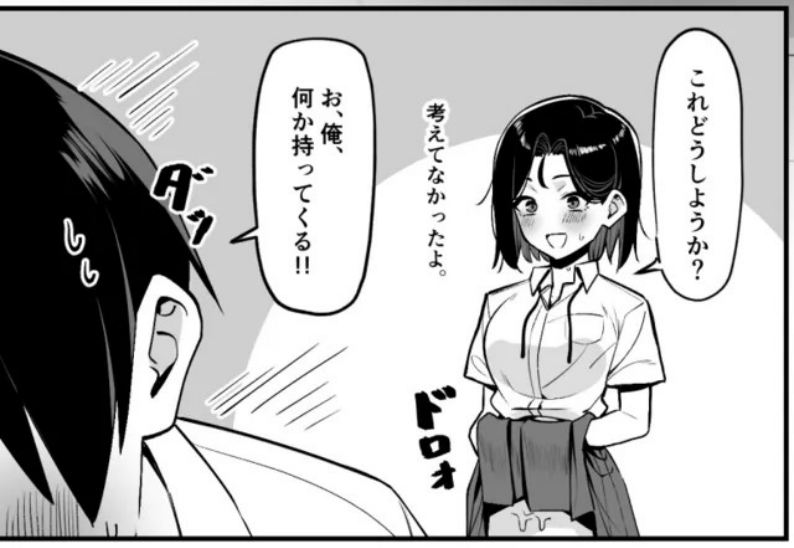

人いたんだ…。
スタ
スタ
スタ


…。
危なかったね。


誰のせいだよ。
強いて言うなら、出すのが遅いキミかな？
なんでだよ。
ビクビク
ズロォ


ところで、
どうだった？
私のおっぱいは。
ドキ
ドキ
ドキ
ちらっ
ぐぃ


柔らか過ぎた…。
ふふっ
だろう？


これどうしようか？
考えてなかったよ。
お、俺、
何か持ってくる!!
ダッ
ドロォ

ーつづくー